

豊島区立 熊谷守一美術館だより

2017年 秋号 vol.49 <http://kumagai-morikazu.jp>



特別企画 熊谷守一美術館 収蔵作品展

11月28日(火)から来年4月1日(日)
2018年4月1日(日)

11月28日(火)から来年4月1日(日)まで当館では特別企画「熊谷守一美術館収蔵作品展」を開催します。常設の第1・2展示室のほか、



3F貸キヤラリーも第3展示室とし、110点程の熊谷守一作品をご覧いただけます。昨年、新たに寄贈を受けた17点のクロッキーや常設展で公開する機会の少ない当館所蔵のクレパス画・鉛筆画・ペン画などを展示します。また、個人蔵(岐阜県美術館寄託)の油

「野菜」「百日草」「仏画下絵」3点をお借りします。ご期待ください。



■休館日 祝祭日問わず月曜日、年末年始(12月25日(月)～1月8日(月))

■開館時間 午前10時30分～午後5時30分まで※金曜日のみ午後8時まで夜間開館をしています。(最終入館は30分前です)

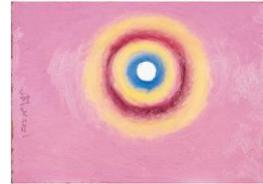
■観覧料 一般/6000円、高大学生/3000円、小・中学生/1000円、小学生未満無料、障害者手帳提示の方1000円(介助者1名無料)

※当館所蔵の油絵「某夫人像」「太郎稲荷」「夕暮れ」「人物」と寄託作品「ハルシヤ菊」と百合は11月20日以降、東京国立近代美術館で開催の「熊谷守一 生きるよろこび」展に貸し出します。当館では、来年4月3日(火)以降にご覧いただける予定です。



東京国立近代美術館 没後40年 熊谷守一 生きるよろこび

いよいよ12月1日(金)から来年3月21日(水・祝)まで、2500点程を集める熊谷守一の大回顧展が竹橋の東京国立近代美術館で開催されます。今回の「没後40年熊谷守一 生きるよろこび」では、



油絵だけで200点を超える熊谷守一作品を一堂に観られる予定です。

少し遡ると、東京近郊では、2002年に茨城県近代美術館で、2007年には埼玉県立近代美術館で大規模な熊谷守一展が開催されました。

木村定三氏のコレクション(熊谷守一の油絵49点(墨絵・書を含めると200点以上)が2003年頃、愛知県美術館にまとめて収められたことも契機となり、埼玉から巡回でまわった没後30年展以降も、全国各地さまざまな熊谷守一展が開催されてきました。ただ、東京で大規模な『熊谷守一展』は、今回が初めてとなります。



東京国立近代美術館蔵の「鬼百合に揚羽蝶」をはじめ、守一作品の中でも人気のある愛知県美術館蔵木村定三コレクション「朝の日輪」「猫」「雨滴」、岐阜県美術館の「ヤキバナカエリ」「朝のはぢまり」、大原美術館蔵の「陽の死んだ日」も観られるそうです。



展覧会の特設ホームページが公開されています。最新情報は、そちらの公式情報をチェックして下さい。

■お問い合わせ 03-5777-8600(ハローダイヤル)

■観覧料 一般/1400円(※前売り券は一般1200円、ペア枚組/2000円、11月30日まで)



東京国立近代美術館窓口他で販売中) 専門・大学生は当日9000円/高校生4000円 住所 東京都千代田区北の丸公園3-1-1 アクセス 東京メトロ東西線竹橋駅徒歩3分 ■開館時間 午前10時から午後5時(金曜土曜は午後8時まで、入館は閉館30分前まで) ■休館日 月曜日(ただし1月8日、2月12日は開館)、年末年始(12月28日(木)～1月1日(月)) ※月曜祝日の振替で1月9日(火)、2月13日(火)は休館

熊谷守一つけち記念館 【守一と故郷付知】

岐阜県中津川市付知町の熊谷守一つけち記念館では、来年の2月18日(日)まで、企画展「守一と故郷付知」が開催されており、常設とあわせて油絵59点・墨彩画4点、計63点の守一作品が展示されています。

岐阜県の付知(つけち)で生まれた熊谷守一は、幼少期から岐阜市で育ちます。現在の東京藝術大学を卒業した後、30代の約5年間に山深い故郷・付知で過ごしました。若い熊谷守一は東京の暮らしと、友達と離れ、自然豊かな故郷で何を考え、過ごしたのでしょうか。熊谷守一つけち記念館では、付知で暮らした若々しい守一の姿に思いを馳せることができます。

当館と同じく、通年で熊谷守一作品をご覧いただける美術館です。お誘い合わせの上、ぜひ一度、お出かけください。

■電話 0573-183-10050

■休館 月曜日(祝日にあたる場合はその翌日が休館)、年末年始、展示替え等による臨時休館

3F ギャラリーの予定

◆藤田雄大個展 (書作品)

11月9日(木)～11月12日(日)

◆小淵喜幸写真展 (写真)

11月14日(火)～11月19日(日)

金曜デッサン会

11月17日までは毎週開催します。翌11月24日から来年3月30日まで特別展開催の為、お休みします。参加の皆さまには長期の休止でのご迷惑をおかけしますが、何卒ご理解ください。新年度の予定は追ってお知らせ致します。

【本紙掲載作品】題字横「野菜」1949年(個人蔵)一段目「アゲ羽蝶」1976年(当館蔵)、「縁側」1949年(当館寄託作品)、「百日草」1996年(個人蔵)、「白猫」1959年(当館蔵)二段目「朝の日輪」1955年(A)、「鬼百合に揚羽蝶」1959年(東京国立近代美術館蔵)、「猫」1965年(A)、「三段目ヤキバナカエリ」1948-1955年(岐阜県美術館蔵) ※Aは愛知県美術館蔵木村定三コレクション

冬期休館

12月25日(月)から
新年1月8日(月)

豊島区立 熊谷守一美術館だより

2017年 秋号 第49号

■休館日/祝祭日問わず月曜日(年末年始休館)

■開館時間/午前10時半から午後5時半まで(常設展示室のみ金曜日は午後8時まで)

■住所/東京都豊島区千早2-27-6

■電話/03-3957-3779

■常設展観覧料/一般5000円、高大学生3000円、小・中学生1000円、小学生未満無料

■障害者手帳提示の方は1000円(介助の方1名無料)※特別企画展は料金が異なります

◎バス/JR池袋駅西口より1区間循環「タクシ」池袋駅西口バスターミナル「要町循環」

◎ビックカメラ前から乗車または「日大病院行」(芸術劇場前から乗車)「要小学校」で下車

徒歩5分→右に進み要小学校正門を越えた角を左折→案内に従ってお越しください。

◎地下鉄/東京メトロ有楽町線、副都心線の要町駅出口2番から徒歩10分程→「要小学校」を目指し大通りを直進→要小学校正門を越えた角を左折→案内に従ってお越しください。

■発行/株式会社権指定管理者 代表 熊谷権

■第1版/2017年10月31日発行(1000枚)